

令和4年度 実習指導者講習会（特定分野）実施要領

1 目的

看護師等養成所における特定の分野の実習を行う病院以外の実習施設の実習指導者の任にある者若しくは将来これらの施設で実習指導者となる予定にある者、又は看護師等養成所において特定分野の実習指導の任にある者に対して、看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を習得させることを目的とする。

2 主催

宮城県（公益社団法人宮城県看護協会 受託事業）

3 開催期間

令和4年11月8日（火）～11月22日（火）

時間：9：30～16：30 土日・祝日は除く、週2～3日予定

4 開催会場

宮城県看護協会会館・看護研修センター

〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目10-19

5 募集人員

10名程度

6 受講対象者

1) 看護師の資格習得後5年以上の実務経験（令和4年5月1日現在）を有し、次の何れかに該当する現に実習指導者の任にある者又は将来実習指導者となる予定の者。ただし、イについては、助産師確保対策の一環として、当面の間、以下に掲げる実習施設に加え、助産師養成所の実習施設である小規模な病院の助産師についても当該講習会の受講を認めることとする。

- ア 保健師養成所における公衆衛生看護学実習を行う病院以外の実習施設の保健師
- イ 助産師養成所における助産学実習を行う病院以外の実習施設の助産師
- ウ 看護師等養成所における老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習又は地域・在宅看護論実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師
- エ 准看護師養成所における老年看護実習又は母子看護実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師又は看護師

2) 看護師等養成所で、1) ア～エに掲げる実習において、現に実習指導の任にある者

※看護師養成所の実習施設

- ①診療所 ②訪問看護ステーション ③介護老人保健施設
- ④介護老人福祉施設 ⑤保健所 ⑥地域包括支援センター
- ⑦在宅介護支援センター ⑧社会福祉施設 ⑨療養通所介護事業所
- ⑩上記①～⑨に類する施設

※准看護師養成所の実習施設

- ①診療所 ②介護老人保健施設 ③介護老人福祉施設 ④社会福祉施設
- ⑤上記①～④に類する施設

7 講習内容

受講科目及び時間数は別表のとおりとする。

8 修了認定

別表の各科目において評価を受け、修了を認められた者に修了証書を交付する。

9 経費

研修の実施に関する経費は、宮城県の負担とするが、研修の参加に要する経費（教材費、宿泊費、旅費等）は受講者の負担とする。

別途資料代として5,000円を受講者の負担とする。

10 申込について

1) 提出書類

- (1) 受講申込書：施設用（様式1）
- (2) 受講申込書：個人用（様式2）
- (3) レポート

テーマ：「実習指導者に求められるもの」

様式：A4縦1枚ワードプロセッサーで横書き（1200～1600字）

※作成要領は別紙参照

2) 申込期間

令和4年7月11日（月）～7月25日（月）（必着）

3) 申込方法

下記あてに郵送のこと

〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目 10-19

公益社団法人宮城県看護協会 実習指導者講習会 担当

11 受講者の決定・通知

書類審査により決定する

所属長及び本人宛に通知する

12 その他

宿泊施設は各自で準備していただきます。

会場への通学は専用の駐車場がありませんので、近隣の有料駐車場または公共交通機関を御利用下さい。

別表

令和4年度実習指導者講習会(特定分野)科目及び目標・時間数

教育内容	科目	目標と内容	時間数
教育の基盤	教育原理	教育の意義や基本的な概念について学ぶ。	3
	教育心理	人間の発達と学習過程における青年期の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解する。	
	教育方法	教育の基本的な方法や技術、評価方法について理解する。	3
実習指導の基盤	実習指導の実際 I (講義)	看護基礎教育の概要と、実習に求められている課題を理解する。	3
		実習指導の基礎と実習指導者のありかたを理解する。	9
	実習指導の実際 II (演習)	実習指導の展開について理解を深め、かつ、臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について、演習をとおして学ぶ	24
その他	開講式・閉講式等 「宮城県の医療政策」 「看護の動向」		3
	計		45

別紙

レポート作成要領

テーマ：「実習指導者に求められるもの」

様式：A4縦1枚ワードプロセッサーで横書き（1200～1600字）
上下左右 25mm程度の余白を設定すること。